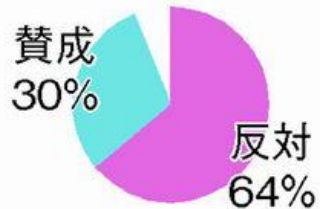


## 憲法9条がノーベル平和賞候補に

「戦争の放棄を定めた憲法9条にノーベル賞を」と神奈川県の主婦が2.5万人の署名を集め、「憲法9条にノーベル賞を拮抗委員会」がノルウェーのノーベル委員会に申請したもの。もし受賞すると、受賞者は「日本国民」となります。

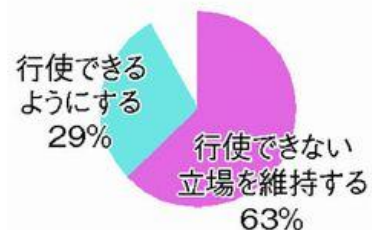
## 解釈改憲反対が急増

●集团的自衛権を行使可能にするための憲法解釈の変更に



「毎日」(3月29、30両日実施)

●集团的自衛権について



「朝日」2～3月実施

### 芦別市議会も反対意見書採択

集团的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないよう求める意見書を芦別市議会で採択されました。4月5日現在、北海道は札幌市・函館市など8自治体、全国では48自治体となっています。世論調査でも、「朝日」63%、「毎日」64%が反対です



解釈で憲法9条壊すな  
会場包む5000人熱気 東京で大集会

憲法解釈を変更して集团的自衛権の行使容認を狙う安倍晋三内閣に「ノ一」を突きつける「解釈で憲法9条を壊すな！ 大集会」(主催、同実行委員会)が4月8日夜、東京都内で開かれました。会場の日比谷野外音楽堂には、「輝く憲法九条」と書いた電光掲示板や「国は戦争するな 企業は武器を売るな！」と書いたフラカードも。会場は埋まり、入りきれなかった人も含め、5000人が参加しました。

安倍政権の  
暴走ストップ!

# 戦争に道開く「集団的自衛権」容認

集団的自衛権の行使を容認すれば、日本が攻撃されていないのに、自衛隊が海外で武力行使できることになり、憲法9条による海外での戦争への歯止めをなくしてしまうこととなります。米軍と一緒に戦闘行動ができるようになり、さらに、国連決議があるからといって、イラク型の戦争でも武力行使する道を開くこととなります。また、近隣諸国と新たな軍事的緊張をもたらすことにもなります。近隣諸国との外交努力こそ必要です。

自民党の古賀誠元幹事長は4月5日、テレビ東京の番組にビデオ出演し、安倍政権が狙う集団的自衛権行使について語りました。行使容認のための憲法解釈変更について問われ、「私が一番懸念しているのは、いったん憲法解釈(変更)で穴を開けると、どんな小さな穴でも広げることが簡単だ。だけど、閉じることが難しい」と述べ、「限定」容認論に反対しました。

## 改憲手続き 国民投票法案 衆院に提出

自民、公明、民主、維新、みんな、結い、生活の与野党7党は4月8日、改憲手続き法(国民投票法)改定案を衆院に共同提出しました。与党は6月22日に会期末を迎える今国会中に成立させることを狙っています。改定案は、憲法改定の際に必要な国民投票の投票権年齢を法施行から4年間は「20歳以上」、その後「18歳以上」にするなどの内容。与党は、改憲手続きを確定させることで、憲法9条など改憲の条件づくりを進めようとしています。

武器輸出へ大転換

三原則撤廃・新原則閣議決定 憲法理念を放棄

政府は4月1日、憲法の平和主義に基づいて武器輸出を全面的に禁じてきた「武器輸出三原則」を撤廃し、武器輸出を包括的に推進する「防衛装備移転三原則」を閣議決定しました。

### アサガオの種をお分けします

昨年平和診療所の花畑で咲かせたアサガオの種です。数に限りあり、少量ですがご希望の方はお持ち帰りください。

